

大人になる娘に、
私たちが今できること

小雪

新TVCM

7月より公開

子宮頸がんは、予防する方法があります。

子宮頸がんは、おもに
HPV(ヒトパピローマウイルス)
の感染が原因の疾患です。

罹患者数：毎年

約**10,000**人

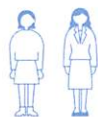


死亡者数：年間

約**2,900**人



20~30代でも罹患



国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」
(全国がん登録/厚生労働省人口動態統計) 全国がん
罹患データ(2016年~2021年)/全国がん死亡データ
(1958年~2023年)

**10代からのHPVワクチン接種と、
20歳を過ぎたら加えて定期的な検診が
大切です。**^{※1}

HPVワクチン 2回、または3回接種で完了^{※2}

2025年度の公費助成(原則自己負担なし)対象者

小学校6年生~高校1年生相当の女子

定期接種

今年度**12歳~16歳**になる方

2009年4月2日~2014年4月1日生まれ/標準的な接種時期は中学校1年生



今年度16歳になる方が、公費でHPVワクチンの3回接種を
完了するためには、9月末までに医師にご相談ください^{※2}。

なお、2024年度中に接種完了できなかった方への経過措置が設けられています。

1997年4月2日~2009年4月1日に生まれた方で、

2022年4月1日~2025年3月31日の間にHPVワクチンを1回以上接種している方は
2026年3月31日まで残りの接種を公費で受けることが可能です^{※2}。

子宮頸がん検診

20歳を過ぎたら、子宮頸がん検診を定期的に受けましょう。

※1: HPVワクチンと検診で子宮頸がんを100%予防できるわけではありません。

※2: 接種時の年齢やワクチンの種類により、2回もしくは3回の接種を完了する必要があります。

標準的なスケジュールでは6か月で接種完了となります。接種スケジュールなど、詳しくは医師にご相談ください。

詳しくは、もっと知りたい 子宮頸がん予防 で、ご確認ください。

子宮頸がん予防 🔍

